

ほ におい 穂 香 タイムス <9月号>

北方四島交流センター（二・ホ・ロの最近の出来事）

「2012平和行動in根室」が開催されました。

日本労働組合総連合主催の北方領土問題を考える「2012平和行動 in 根室」が、9月8、9日にわたって根室市内で行われました。

初日は、道立北方四島交流センター（二・ホ・ロ）を会場に全国の労働組合関係者、約600人が集まり、「北方領土学習会」を開きました。



会場から溢れるほどの参加者が集まり、北方領土への関心の高さが窺えました。

学習会では、第1セミナーから第5セミナーに分かれ、どの会場も満席で各講師からの話しに会場は熱気にあふれていました。



当日は好天に恵まれ中庭での学習会、当センター専門員でもある元島民、高橋孝志（歯舞群島勇留島出身）さんからの「ふるさと北方四島への想い」と題しての話しには会場から大きな拍手が送られていました。



調理実習室では、講師、佐々木アンナさんによる「ロシア風水餃子 ペリメニ」づくり



北方領土問題 青少年現地視察研修会の開催

8月26日、北方領土問題対策協会主催の「北方領土問題 青少年現地視察研修会」が今年も二・ホ・ロを会場に行われました。

全国各地の県民会議から選ばれた中・高校生48人と引率教員12人の60名は12班に分かれて壁新聞作りに挑戦し、北方領土問題を知ってもらうための方策等について意見交換をしました。



それぞれの地域で、北方領土返還要求運動のリーダーとなるよう、みなさんの一層の活躍を期待します。

「目で見える北方領土」釧路町

8月22日、(社)北方領土復帰期成同盟釧路支部・釧路町が主催する「目で見える北方領土」事業で、釧路町より30名が来館されました。

この事業は、地域住民を根室市納沙布岬に派遣し、北方領土に対する理解と認識を深め、返還運動への積極的な参加を求めるため、北方領土の厳しい現状等の視察を実施することを目的としています。

二・ホ・ロではビザなし交流の映像を見るなど説明員の解説に耳を傾け、ロシア文化ルームでは民族衣装や楽器、民具などに興味深く見学されており、最後に全員で記念写真を撮っておられました。



平成 24 年度 北方領土ゼミナールが開催されました。

9月15日、16日の両日、北方領土問題対策協会が主催する「平成24年度 北方領土ゼミナール」が、ニ・ホ・ロをメイン会場に開催されました。

全国の大学生を対象とするこの事業は、全国各地の運動推進団体である都道府県民会議などから推薦を受けた16都道府県23大学の学生ら34人が参加し、北方領土問題への理解と認識を深めました。



日程の初日は、納沙布岬を視察したあと、ニ・ホ・ロにて元島民である鈴木咲子（択捉島出身）さんからの講話を聴いたあと、拓殖大学海外事情研究所客員教授 佐瀬昌盛 氏、並びに元ベルギー大使・元外務省欧亜局長 兵藤長雄 氏の講義を受講し、講義を通じての質問や自分たちの役割についてグループ討議をしながら領土問題について学習を深めました。



2日目には、講師とのディスカッションや北方領土に関する模擬試験などで日程を終えました。



多くの学生たちがこのような機会を得て、北方領土について正しい知識を身につけ、返還運動を盛り上げる後継者となることを期待しております。

来館者ニュース

松元内閣府事務次官 ニ・ホ・ロ 視察

内閣府の松元 崇 事務次官が札幌で開催される「北方領土返還要求北海道・東北国民大会」の出席に先立ち、8月23日、根室を訪れ ニ・ホ・ロを視察されました。

ニ・ホ・ロでは展望室から国後島羅臼山を望むことができ、「早期返還に向け、しっかりと取り組んでいきたい」と話されておりました。



全道 教育委員会委員の皆さん来館

平成24年度「北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会」が根室市で開催され、8月24日、委員の皆さん80名余りが ニ・ホ・ロを視察されました。



全道各地から参加された皆さんは2班に分かれて、展示された資料等をじっくり見学され北方領土問題に対する見識を深められていました。



石川県民会議 現地視察団

8月30日、山田憲昭石川県議会議長を団長とする北方領土現地視察団8名が二・ホ・ロを視察されました。

石川県民会議はこれまでも熱心な啓発活動が続けられてきており、運動を拡大し、より効果的な返還運動を推進するため、毎年、北方領土原点の地、根室を訪れています。



愛媛県今治市議会の皆さん

9月3日、愛媛県今治市議会のみなさん9名が行政視察のため根室市を訪れ、二・ホ・ロを視察されました。

展示された資料をじっくり見学され、また、説明員に色々と質問されるなど関心の高さが覗え、北方領土問題に対する見識を深められました。



霧多布小学校 4年生の皆さん

9月7日、社会科見学の一環として、霧多布小学校4年生（25名）の皆さんが北方四島交流センター（二・ホ・ロ）を見学しました。

生徒たちは、当センターの高橋専門員（元島民）から、北方領土の自然などについてのお話を聞いたり、映画鑑賞、展示室やロシア文化ルームなど楽しく見学をしていました。



散布小学校 5年生の皆さん

9月13日、（社）千島歯舞諸島居住者連盟浜中支部主催の啓発事業「見たい・知りたい・北方領土」で、散布小学校5年生の皆さんが二・ホ・ロを訪れました。

生徒たちは、展示室・資料室での説明員の解説に耳を傾け、熱心にメモを取っていました。



北方少年少女塾

夏休みも終わり、「北方少年少女塾」も再開しました。

二・ホ・ロの高橋孝志専門員の講話や展示室・資料室での説明員の解説に耳を傾け、北方領土返還運動の後継者として、熱心に勉強しています。

<9月4日 根室市立共和小学校>



子供たちは、ロシア文化ルームが大変お気に入りのようでした・・・。

<9月7日 標津町立標津中学校>



説明員の解説に、とても熱心に聞き入れていました。

＜9月11日 別海町立野付小学校＞



見たり、聞いたり、勉強したことをお友達や家族の人たちに教えてあげて・・・ネ

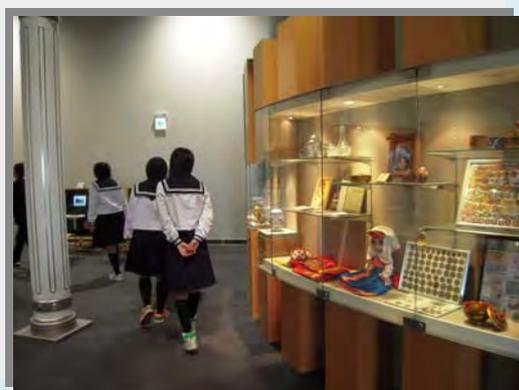
＜9月12日 根室市立昆布盛小学校＞



また、二・ホ・ロに来てくださいネ！！



＜9月13日 別海町立野付中学校＞



北方領土返還のためには、皆さんのような若い世代の力が必要です・・・！

＜9月18日 根室市立花咲小学校＞



子供たちは、「四島カルタ」で北方領土について学習しています。

＜9月20日 根室市立瑠璃舞小学校＞



子供たちは、説明員の解説にとっても熱心に聞き入れ、遊びながら学ぶことができる北方領土「四島カルタ」で楽しんでおりました。



お知らせ

木彫作品展

「地杭の魂、108態の祈り、in 一步」

9月1日～23日

二・ホ・ロで、工房「一步庵」、吉澤康則さんの木彫作品展「地杭の魂、108態の祈り、in 一步」が開催されました。

「フクロウ」をテーマに彫った108体の木彫りは、全てイチイの廃材で作られており、木のぬくもりが感じられる作品がずらりと並び、一つ一つの表情が違い大変興味を引く作品です。

吉澤さんは、使われなくなった廃材に宿る魂を伝えようと、木の心、木の気持ちに導かれるように真心を込めて仕上げた作品と話されていました。



ロビー展示をご利用ください

個人、サークル活動などで作られた作品を展示してみませんか。



ご希望の方はご来館またはお電話で、一度ご相談ください。

問合せ： 道立北方四島交流センター

(TEL: 0153-23-6711)

寄贈されました。

■根室市の薄田章さんから、書籍2冊、リールテープ2本が寄贈されました。

書籍 「千島は訴える 一屈従の29年一」

著者：山県泰三（元、千島国後郡植内尋常高等小学校校長）

「雲流る々国後」

著者：村田吾一（非売品）

リールテープ

HBCラジオドラマ「深い霧の向うへ」

（昭和30年頃に放送されたもので、劇団カシオペアによる北方領土から引き揚げてきた物語。）



■ 根室市の吉澤康則さんから、「カニカゴ」竹製が寄贈されました。

戦前、北方四島のカニ缶詰工場などで当時使用されていたものと同様の「カニカゴ」です。

館内展示室での啓発資材として有効活用していきたいと思えます。